



「市民に愛され市民に貢献する」企業グループとして

シチズングループは、「Micro HumanTech：超小型技術・超精密技術・低消費電力技術」により、時計をはじめ、電子デバイス、電子機器、産業用機械などの多彩な製品群の提供を通じて生活の豊かさや産業の発展に貢献しています。

また、事業にあたっては、「世界の市民に愛され親しまれるように」という思いに基づき、多様なステークホルダーの皆様との対話を重視し、企業の社会的責任(CSR)を果たしていくよう努めています。



編集方針

「シチズングループCSR報告書2008」では、2007年4月1日からの純粋持株会社体制への移行に伴い、シチズンホールディングスのCSRに関わる方針・施策を報告するとともに、各事業会社のCSRの取り組み状況を調査し、最新の活動を報告するよう努めました。

また、社会の関心が高く、多様な事業を展開するシチズングループにとっても重要な「品質・製品安全に対する取り組み」を「特集」として取り上げました。

報告対象と報告範囲

経済データ・社会データ：
国内外シチズングループ(計76社)
環境データ：
国内外シチズングループ(計33社)

報告期間

2007年度
(2007年4月1日～2008年3月31日)
ただし、一部2008年度の内容を含みます。

参考にしたガイドライン

「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2002」(GRI)
「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006」(GRI)
「環境報告ガイドライン(2007年版)」(環境省)
「環境会計ガイドライン(2005年版)」(環境省)

WEBサイトとの連動について

本報告書で掲載しきれなかった情報については、WEBマークを付記し、WEBサイトにて開示しています。

CSR報告WEB版

 日本語版
<http://www.citizen.co.jp/social/index.html>

 英語版
<http://www.citizen.co.jp/english/csr/index.html>

次回発行予定

2009年6月

Contents

編集方針	2
トップコミットメント	3
シチズングループについて	5
特集	
シチズングループの「事業」と「品質」	7
CSRの基盤	
基本方針と体制	11
コーポレートガバナンス	13
株主・投資家との対話	15
コンプライアンス	16
リスクマネジメント	17
社会とシチズン	
お客様との対話・CS向上	18
お取引先とのより良い関係づくり	21
従業員のために、従業員とともに	22
地域社会とともに	25
環境とシチズン	
シチズングループの環境経営	27
環境マネジメント	29
事業活動と環境負荷	31
環境配慮型製品の充実	33
グリーン調達の実現	34
地球温暖化ガスの削減	35
資源の有効活用と廃棄物の削減	36
有害化学物質の削減	37
第三者意見	38

免責事項

本報告書には、将来予測も記載しています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づいたものであり、実際の活動結果が予測と異なる可能性があります。